

---

# 思い出は切なくて儂かった

華耶

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

思い出は切なくて儂かった

### 【Nコード】

N2126U

### 【作者名】

華耶

### 【あらすじ】

小説らしい小説ではないです。

作者が体験したことをノンフィクションでポエム風に書かしていただいております。

あなたが大好きでした。

狂おしいぐらいに、あなたを

愛していました。

あたしだけがあなたに愛されたかった。

あなたを愛しているのは、あたしだけでよかった。

あんな別れ方、したくなかった。

真実と向き合うのが恐くて逃げていた。

避けられていても、

ひたすら送ったメール。

消されていたのかもしれない。

あたしがうつとおしいことをしたのに、

あなたはずっと謝っていた。

ごめんなさい。

だけど、傷ついていたのは、あたしだけだった。

あなたは何にも思っていなかったんだよね。

裏切られたあたしの気持ちはどこにいくの???

他の仔と付き合っていた9日間に、あなたは罪悪感というものを、

覚えられましたか???

好きだったから、

振れなかった。

別れたかったけど、

手放すのはおしいように感じた。

それでも、あたしの手の中からこぼれおちた

あなたとの関係は確かに存在したものだっただけです。

どうして「なんであたしだけじゃないの?」

そう、聞けなかったんだろう

きっとあなたに嫌われるのが恐くて

うざがられるのが辛くて

あたしが最後にした異、

だったんでしょう。

愛されたい。

追いかけられたい。

その願いはすべて逆になっていました。

愛のない56日間でした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2126u/>

---

思い出は切なくて儚かった

2011年10月8日20時54分発行